

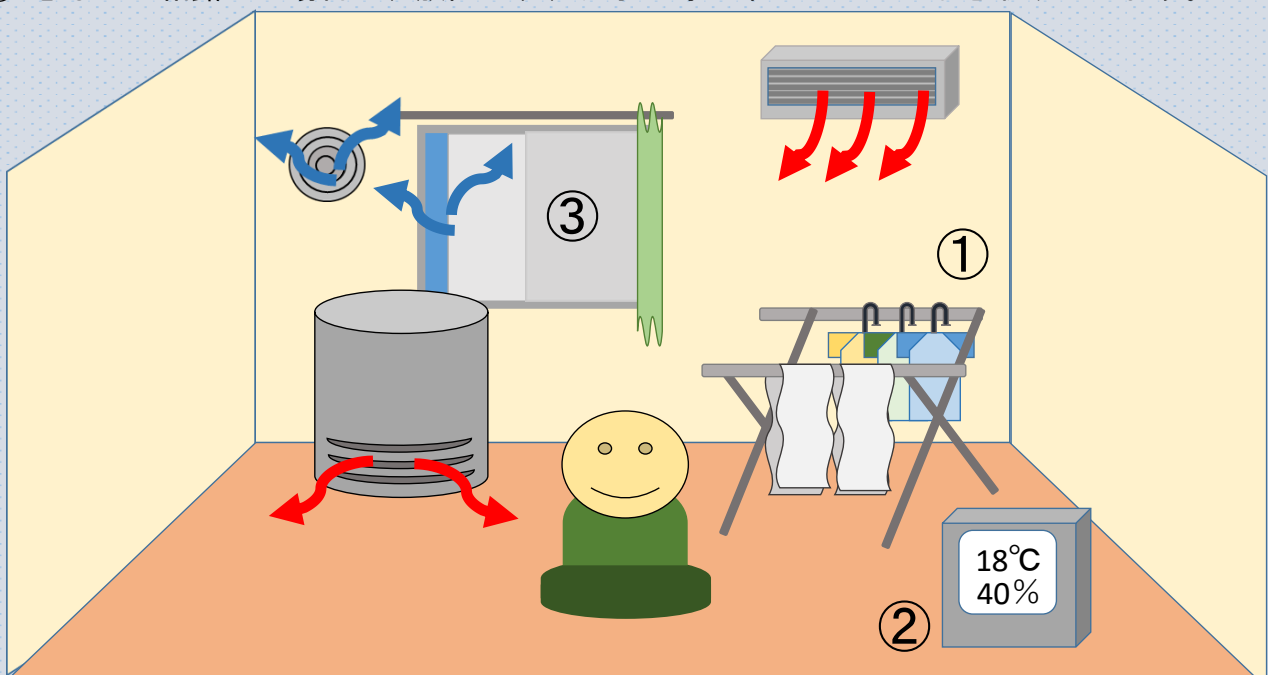
寒い季節の加湿について

冬の空気はとても乾燥していて、静電気の発生やインフルエンザ等に感染しやすくなります。特に今季はコロナ禍における家庭内感染を防止するうえで、加湿の重要性が叫ばれています。

快適な室内環境を維持し、新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐためには、加湿器等を利用して室内の相対湿度を40%以上に維持する必要があります。

洗濯物の室内干し

- ① エアコンなどの温風の風下に、洗濯物を干します。
- ② 温湿度計で、室内の温湿度を把握するようにしましょう。
(室温18℃以上、相対湿度40%以上を目安にします。)
- ③ 窓などに結露した場合は、放置せず、タオル等の布でこまめにふき取りましょう。



加湿器を使用する

家電販売店では、様々なタイプの加湿器が販売されており、それぞれ長所と短所があります。ご自分の部屋に適した加湿器を選びましょう。

① 蒸気式（スチーム式）

ヒーターが内蔵されており、ヒーターによる加熱で水蒸気を発生させるタイプ

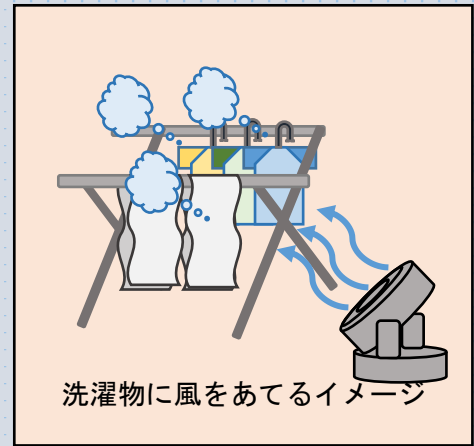
- ・長所 短時間で一気に加湿できる。
加熱により、雑菌の繁殖を防ぐ効果が期待でき、他のタイプに比べ衛生的
- ・短所 消費電力が他のタイプに比べやや高い。
熱い蒸気が噴出するため、やけどに注意する必要がある。



② 通風気化式

水を含ませたフィルターにファンで風を当て、水分を気化させるタイプ

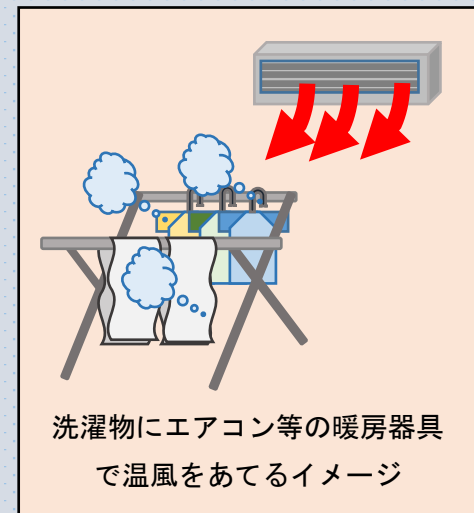
- ・長所 消費電力を抑えることができる。
熱い蒸気がでないため、やけどの心配がない。
- ・短所 他のタイプより加湿力がやや劣る。
フィルターに雑菌が生えやすく、定期的な清掃や交換が必須
大型モデルほどファンが大きくなるため、騒音レベルが気になる場合がある。



③ ハイブリッド式（通風気化式にヒーターを組み合わせたタイプ）

水を含ませたフィルターにファンで温風を当て、水分を気化させるタイプ

- ・長所 湿度が低いときは温風を送り、湿度が高くなるとヒーターを切って「気化式」として加湿するため、通風気化式より早く加湿ができる。
消費電力を抑えることができる。
- ・短所 フィルターに雑菌が生えやすく、フィルターの定期的な清掃や交換が必須
大型モデルほどファンが大きくなるため、騒音レベルが気になる場合がある。



④ 超音波式

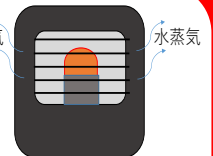
超音波によって水を微細な粒子にして噴出するタイプ。

（雑菌を抑制するために、水をヒーターでお湯にしてから噴出するタイプもある。）

- ・長所 消費電力を抑えることができる。
価格が安価なものがある。
デザイン性が優れたものが多い。
- ・短所 スチーム式加湿器に比べると加湿力が弱い。
雑菌が繁殖しやすい。
水道水に含まれる不純物などで部屋や加湿器周辺が白く汚れることがある。

注意！石油ファンヒーターは加湿器？

一般によく利用されている石油ファンヒーターやガストーブ（排気筒がないタイプ）は灯油やガスの燃焼により、多量の水蒸気が発生します。このため、洗濯物の室内干しや加湿器による加湿を合わせると、加湿しすぎの状態となり、部屋の窓や壁などに著しい結露が発生することがあります。温湿度計等で室内の温湿度を管理し、加湿しすぎないようにしましょう。また、結露を放置すると、カビ等の原因となるので、注意しましょう。



なお、このタイプの暖房器具を設置している部屋では、換気をしないと、一酸化炭素中毒などの事故を起こす危険性があります。しっかり換気をしましょう。